第２２回　東陽地域審議会会議録

開催日時	平成 24 年７月４日(水)午後２時 00 分～午後２時５５分
開催場所	八代市東陽支所　２階大会議室

■ 出席委員（１０名）

会　長	後村　新一	副会長	吉田　和人	委　員	岩本　美重子
委　員	黒田　育夫	委　員	堺　知美	委　員	武内　設雄
委　員	岩丸　敏治	委　員	澤村　修治	委　員	奥村　恭子
委　員	田村　八寿子				

■ 欠席委員（１名）

委　員	奥田　勲	委　員		委　員	

■ 市出席

役　職	氏　名	役　職	氏　名
東陽支所長	西田　秀人	東陽農林水産事務所長	岩岡　浩徳
東陽支所総務振興課長	生田　隆	東陽支所市民福祉課長補佐	上原　通
〃　　課長補佐	上村　英司	企画政策課長	丸山　智子
〃　　振興係長	寺本　和也	企画政策課企画係長	相澤　誠
〃　　振興係主任	森岡　貴昭	企画政策課企画係主事	坂本　友和
〃　　振興係主任	川口　ミカ	市民活動支援課長	辻本　士誠
東陽建設事務所長	朝川　幸市	市民活動支援課住民自治推進係長	井戸　康雄

■傍聴者

一般傍聴者	０人	報道機関	０人

■会次第

１　開会

２　会長挨拶

３　議題

【協議事項】

・八代市総合計画策定審議会委員の推薦について　【資料１－１、１－２】

【報告事項】

・八代市笑顔ｄｅあいさつ日本一運動について　【資料２】

・住民自治に関する進捗状況について、及び地域要望制度について　【資料３】

【その他】

・各地域審議会の開催状況について　【資料４】

４　閉会

■会議録

□司会

第２２回東陽地域審議会開会、会議成立説明

□会長挨拶

□議長(会長)

『八代市総合計画策定審議会委員の推薦について』

（企画政策課より【資料１－１、１－２】に基づき説明）

▽説明の概要

・八代市では、平成20年度に八代市総合計画をスタートし、前期基本計画が平成24年度までの計画であるので、引き続き次の5ヵ年（平成25年度から平成29年度）に向けた後期基本計画を策定すものである。

・基本構想で市の長期的（10年間）な将来像を示し、基本計画で、基本構想を具体化、実施計画では基本計画に定めた施策実現のための具体的な事業内容を示している。

・計画策定にあたっては、財政計画・行政評価と連動した進捗管理を取り入れる。

・行政評価については平成 26 年度中の実施を目指し、段階的な制度導入を図っていく。

・策定体制については、策定審議会・策定委員会・起案委員会・起案専門部会で構成。

▽委員の意見等

(会　長) 東陽地域審議会より１名推薦をということですがいかがいたしましょうか。

(委　員) 東陽地域審議会としては、後村会長に八代市総合計画策定審議会委員をお願いしたいと思いますが。

(委　員) 一同異議なし

(後村会長)　受諾

東陽地域審議会代表として後村会長を八代市総合計画策定審議会委員に推薦することで決定。

□議長(会長)

『八代市笑顔ｄｅあいさつ日本一運動について』

（企画政策課より【資料２】に基づき説明）

▽説明の概要

・本年度から本格的に実施していくもので、学校・地域・各種団体・民間企業・市役所等が一体となった運動を展開していきたい。

・シンボルマーク、キャッチフレーズを全国に募集しこの度決定した。

・このシンボルマーク、キャッチフレーズをポスター、幟旗等の啓発グッズのデザインとして活用、市内全域の公共施設・学校に設置し運動の広がりを図っていく。

・あいさつの歌・あいさつ体操を作、８月１日１１時からハーモニーホールにて開催が決定しているOP イベントでお披露目を行う。

▽委員の意見等

(委　員) 運動を進めていく中で、その成果については随時報告してほしい。

(委　員) それぞれの地域・団体でも広く展開していかないと効果は期待できないので、それぞれのご協力をお願いしたい。

(委　員) この事業については、単年度事業なのか、来年度以降も継続していくのか

(事務局) 来年度以降の具体的な内容は現段階では決定してはいないが、事業自体は継続していく。予算については未定である。

(委　員) 事業は継続していくということだが、来年度以降はなるべく費用を使わない方向で検討してほしい。

□議長(会長)

『住民自治に関する進捗状況について、及び地域要望制度について』

（市民活動支援課より【資料３】に基づき説明）

▽説明の概要

・6月に第2期先行地域として植柳校区・宮地東校区が追加指定された

・校区要望と呼んでいたものを地域要望として統一する

・従来は、要望書の提出先が校区により異なり、要望に対する正式な回答を返していなかったが、住民自治を推進するうえで、窓口を市民活動支援課に一本化し、要望に対する市の考えを地域に回答する、併せて、要望書の提出時期も8月末で統一する

・住民自治の協議会が全地区に設置されるまでは、地域要望制度についても改善を加えていく。

▽委員の意見等

特になし

□議長(会長)

『各地域審議会の開催状況について』

（企画政策課より【資料４】に基づき説明）

▽説明の概要

・前回、第 21 回地域審議会の発言要旨をまとめている。

（各地域審議会から出た意見の主なものは以下のとおり。※以下、委→委員、事→事務局）

・委農業振興についてどう考えているのか

事市民アンケートでも農林水産業振興についての評価は低いという結果がでていたので、後期基本計画の中でしっかりとした位置づけを行っていく。

・委合併特例債の残りの使途は

事環境センター建設、学校耐震化工事等に効果的に使っていきたい

・委八代市における学校の耐震化率が低いのはなぜか

事倒壊危険度の高いものから順次耐震化工事を行っている、これについては事業費も高くつき率が伸びていないように見えるが、これらが終われば事業費が小さい工事が多くなる

ので、H26～H27 で一気に耐震化率が上がるのではないかと思われる

・委八代市保育所民営化等計画の見直しはどうなっているのか

事皆さんから頂いた意見をもとに現在計画の見直しを行っている、頂いた意見については可能な限り応えていきたい。

・委千丁の工業団地は白紙になったが、他の場所では検討しないのか

・事産業活性化ビジョンの中で検討していきたいが、地場企業の育成・投資拡大を柱として考えていきたい。

▽委員の意見等

（委　員）他市では人口減少対策の成功事例があるということで、八代市でも定住施策について調査検討を行っていくとあるが、どの地域を指定して調査を実施するのか。

（事務局）市役所内部の各課を集めて色んな提案を検討していくというところである。定住施策具体案を検討する前段階の組織の立ち上げということである。

□議長（会長）

『その他』

▽委員の意見等

（委　員）乗り合いタクシーについて、赤山地区・栗林地区・平野団地の高齢者の方からも導入してほしい旨の要望を耳にしたので検討いただきたい。

（事務局）要望が多いところについては検討を行っていくが、今後、全体を見ながら検討していきたい。

（会　長）地域から要望を上げてもらい、要望があがれば区長会でもとまとめていく。

□議長（会長）

第２２回東陽地域審議会閉会

（午後 14 時 55 分終了）